県道吉間田滝根線　広瀬工区　令和6年4月１３日開通

国道３５２号　見通工区（見通橋）　令和6年１１月２２日開通

令和７年度
道路の予算概要

～安全・安心な、
　活力ある未来へつなぐ道づくり～

県道いわき上三坂小野線　小名浜道路　事業中

国道２８８号　船引バイパス　事業中

令和７年４月
福島県土木部
道 路 総 室

令和７年度　道路の予算概要

～安全・安心な、活力ある未来へつなぐ道づくり～

目　　次

ページ

目　　次 … 1

1 「道づくり」の基本方針 … 2

2 県、土木部及び道路総室所管の予算の推移 … 3

3 令和７年度予算の概要 … 4

4 「道づくり」の８つの施策 … 5

5 令和７年度の主なトピックスについて …１４

6 主な完成予定箇所・新規箇所 …１７

令和７年度　道路の予算概要

～安全・安心な、活力ある未来へつなぐ道づくり～

1　「道づくり」の基本方針

「第２期復興・創生期間」、「防災・減災、国土強靭化のための５か年加速化対策」の最終年度となる令和７年度においては、期間終了後の事業展開を見据えながら、引き続き、県民の安全・安心の確保を最優先に、「復興」と「地方創生」を形にしていくため、復興を支え活力ある県土基盤の構築を目指し、新しいふくしまの創造に向けた道づくりなど、以下の３本の柱により取組を進めます。

1　新しいふくしまの創造に向けた道づくり（復興・創生）

「誇りあるふるさと再生の実現」に向け、引き続き、避難指示解除等区域と周辺の主要都市等を結ぶふくしま復興再生道路など、安全で信頼性の高い道路ネットワークの構築を進めるとともに、福島イノベーション・コースト構想等をはじめとした新たな拠点へのアクセス道路など、本県の復興の進展に必要な道路の整備を進め、国及び市町村等と連携を図りながら、新しいふくしまの創造に向けた道づくりを進めます。

2　頻発する自然災害に備え、暮らしを守る道づくり（防災・減災）

激甚化する風水害や大規模地震等への対策として、道路法面の土砂災害防止対策や、橋梁の流失防止、道路の無電柱化など、強靭な道路ネットワークの整備を進めるとともに、道路施設の老朽化対策として、予防保全型メンテナンスへの転換に向け、橋梁やトンネル等の修繕を重点的に進めます。

併せて、道路パトロール及び除雪等、適時・適切な維持管理を実施し、安全で円滑な交通を引き続き確保するとともに、道路施設の集中監視化やドローンを用いた点検など、デジタル変革（ＤＸ）を推進することによる効率性の向上により、頻発する自然災害等に備え、暮らしを守る道づくりを進めます。

3　ふくしまの魅力を高め、地域を支える道づくり（活力、安全・安心）

県土の将来を見据え、会津縦貫道などの県土の骨格をなす基幹的な道路や地域連携道路など、広域的な連携・交流の強化に必要な道路については計画的に整備を進めるとともに、生活幹線道路など、暮らしを支える道路については、地域の実情に応じた整備を進めます。

また、ふくしまの観光資源を活かした広域的なサイクリングルートの利活用推進や、道の駅の機能強化など、地域の活性化を支援するとともに、ユニバーサルデザインに配慮した歩行空間を整備するなど、ふくしまの魅力を高め、地域を支える道づくりを進めます。

【行動基準】

私たちは、安全・安心を最優先に道づくりを進めます

令和７年度　道路の予算概要

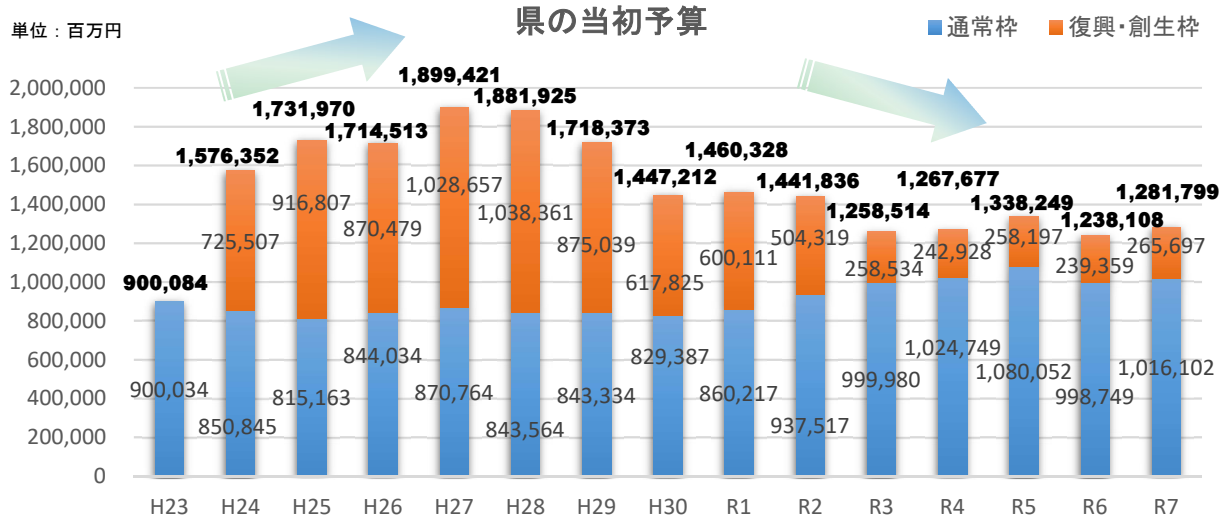
～安全・安心な、活力ある未来へつなぐ道づくり～

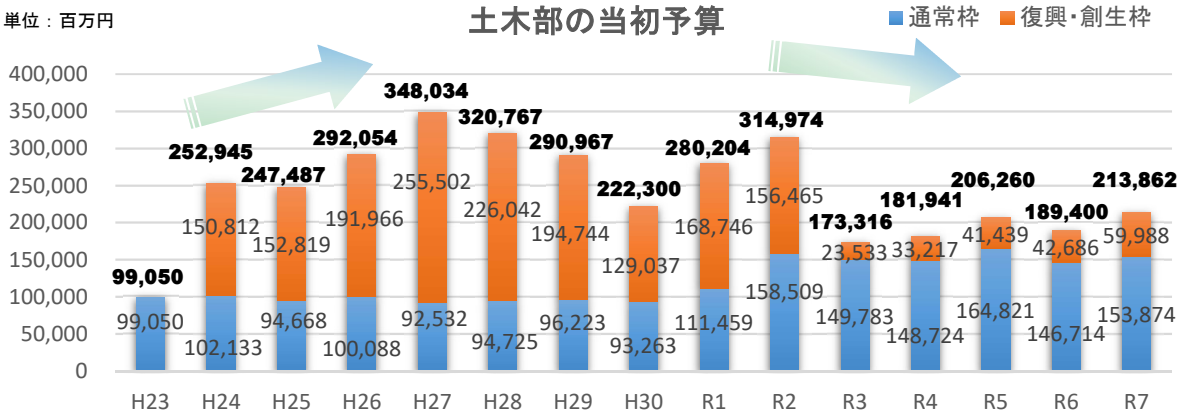
２　県、土木部及び道路総室所管の予算の推移

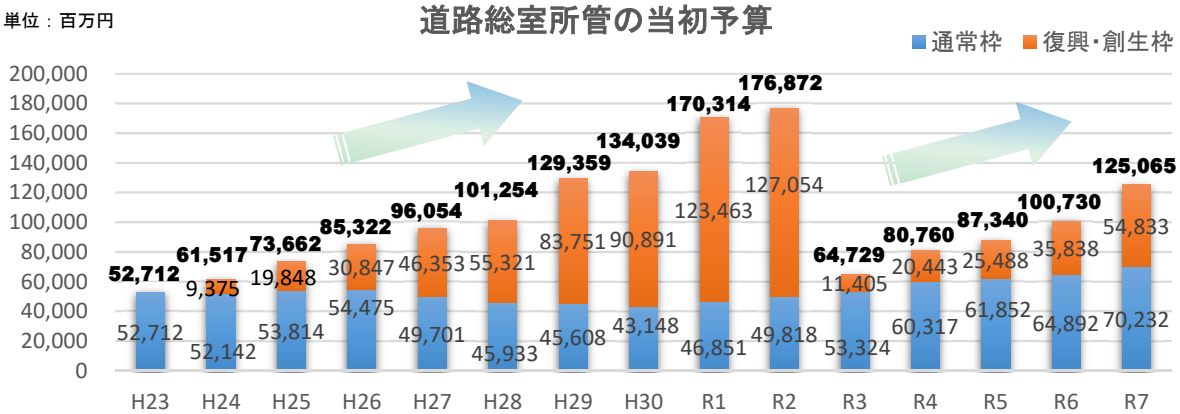
県と土木部の当初予算は、東日本大震災以降右肩上がりに増加していましたが、復興公営住宅整備事業や震災関連の災害復旧事業の進展などにより、平成２７年度をピークに減少しています。

一方、道路総室所管の予算は、令和２年度がピークでした。

令和７年度は、第２期復興・創生期間や防災・減災、国土強靭化のための５か年加速化対策の最終年度として、復興や防災・減災に向けた道づくり等を推進していきます。





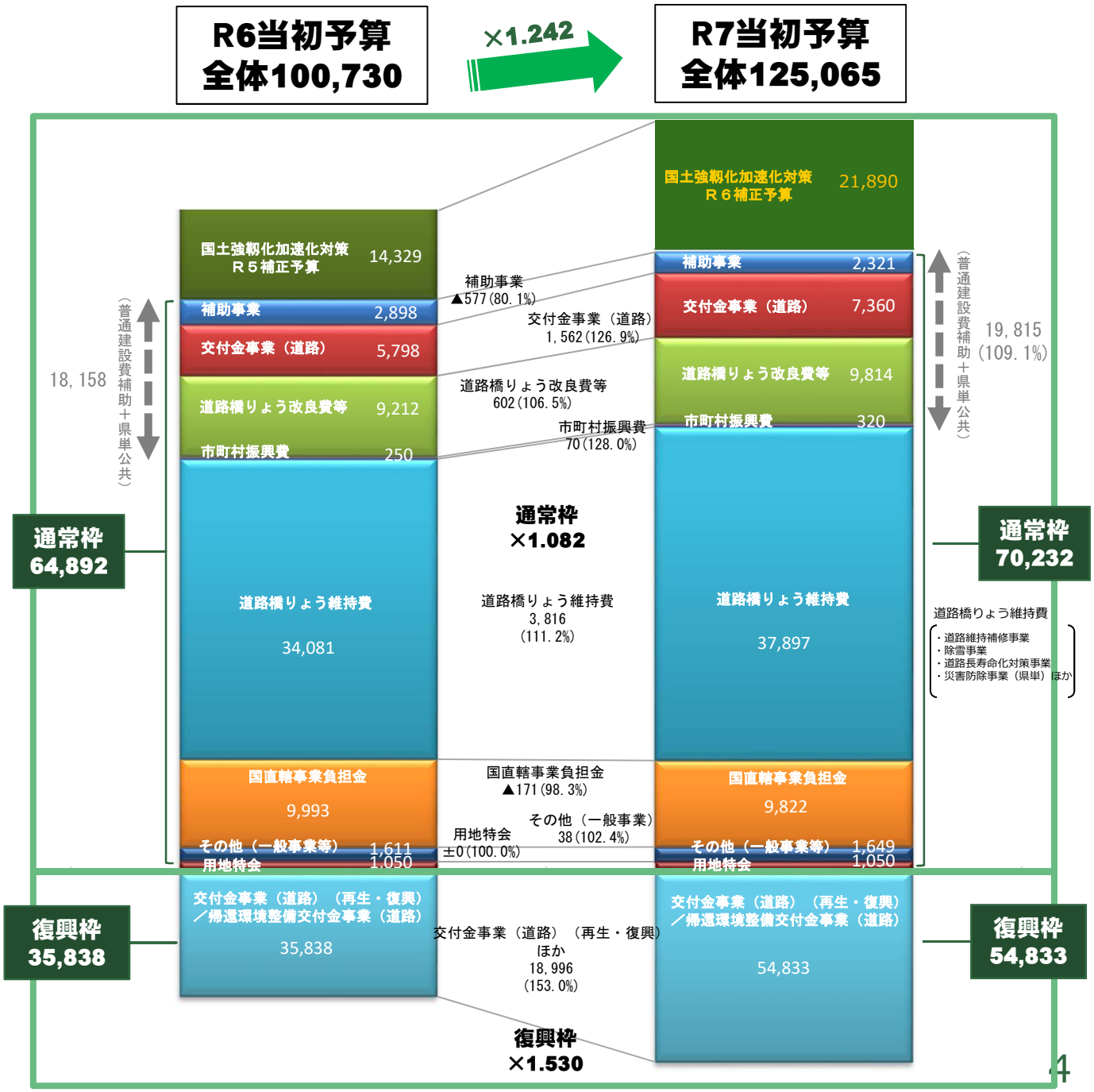


令和７年度　道路の予算概要

～安全・安心な、活力ある未来へつなぐ道づくり～

３　令和７年度予算の概要

① Ｒ７当初は、Ｒ６当初に比べ、２４．２%の増（通常分８．２%増、復興分５３．０%増）
② 通常分のうち、普通建設補助＋県単公共（いわゆる交付金・補助事業の通常分）は、９．１%の増
③ 道路橋りょう維持費は、橋梁等構造物の修繕など老朽化対策に係る費用を重点確保し、１１．２%の増
　その内、舗装補修や防草対策等年間を通した日常の維持管理などの一般補修等は、３．６%の増
④ 第２期復興・創生期間の復興事業の完了に必要な予算を確保
　<内訳>◆Ｒ７通常分　5,340百万円増の　70,232百万円で、Ｒ６年度当初予算に対し　８．２%の増
　　◆Ｒ７復興分　18,995百万円増の　54,833百万円で、Ｒ６年度当初予算に対し５３．０%の増
※　防災・減災、国土強靭化５カ年加速化対策事業費はＲ６補正予算で21,890百万円を計上



令和７年度　道路の予算概要

～安全・安心な、活力ある未来へつなぐ道づくり～

4　「道づくり」の８つの施策

本県の特性、各地域ごとのご意見や地域ニーズ等を踏まえ、新しい時代にふさわしい道づくりのあり方を示す「ふくしま道づくりプラン」を策定しており、そこに位置付ける８つの施策を推進していくことで、『安全・安心な、活力ある未来へつなぐ道づくり』の実現を目指します。

＜８つの施策を表すキーワード＞

① 復興・再生　② 防災・減災　③ 活力　④ 長寿命化

⑤ 暮らし　⑥ 地域力　⑦ 人・健康　⑧ 環境

【ふくしま道づくりプラン】

計画期間：令和4(2022)年度から令和12(2030)年度

施策と主な取組

（施策１）ふくしまの更なる復興を支える道づくり

・復旧・復興、住民帰還の促進や産業再生を支援する道路の整備を進めます
・原子力災害地域の復興・再生を支援する道路の整備を進めます
・新たな産業基盤の構築を支援する道路の整備を進めます

■主な指標
・ふくしま復興再生道路(8路線29工区)の整備完了率
現況(R2) 48%　⇒目標(R7) 100%

ふくしま復興再生道路
(小野富岡線　西ノ内工区)

（施策２）頻発する自然災害に備える道づくり

・リダンダンシーを確保し災害に強い強靭な道路ネットワークを構築します
・落石等の危険箇所の対策を進めます
・災害時の安全な通行を支えるため無電柱化を進めます
・大規模地震時の救助活動や復旧・復興を支えるため橋梁の耐震化を進めます

■主な指標
・災害発生時に緊急物資等を輸送する道路において、落石等の対策が必要な危険箇所の対策率　現況(R2) 75%⇒目標(R12) 100%
・市街地等における無電柱化整備率　現況(R2) 46%⇒目標(R12) 57%

耐震補強を実施する橋梁
(国道121号　喜多方市)

（施策３）広域的な連携・交流を支え県土の活力を高める道づくり

・県内外の連携や交流を支援するため会津軸、南部軸などを整備します
・地域間の連携や交流を支援するため地域連携道路を整備します
・平常時・災害時を問わない安定的な輸送を確保するため重要物流道路等を整備します

■主な指標
30分以内にインターチェンジにアクセスできる市町村数　現況(R2) 51⇒目標(R12) 53

基幹的な道路
(国道118号 小沼崎BP　下郷町)

（施策４）新技術等を活用した既存施設の長寿命化や効率的な維持管理による道づくり

・長寿命化計画に基づく適切な維持管理により、道路施設の長寿命化に取り組みます
・DX等の推進により効率的な維持管理を行います
・地域の安定的な維持管理を確保するため、包括的維持管理の導入を推進します

■主な指標
早期に対策を講ずべき橋梁・トンネルの修繕措置率(1巡目法定点検)
現況(R2) 17%⇒目標(R7) 100%

ドローンによる橋梁点検

（施策５）一年を通じて安全で円滑な交通を確保する道づくり

・安全・安心な道路環境を確保するため適切な道路パトロールを実施します
・通学路等の安全な歩行空間を確保します
・交通事故防止のための道路整備を進めます
・雪国の暮らしを守る防雪対策を実施します

■主な指標
通学路における安全対策の完了率　現況(R2) 49%⇒目標(R12) 75%

歩行空間の確保が求められる歩道
(国道352号檜枝岐村)

（施策６）まちづくりや地域振興を支える道づくり

・まちの魅力を高める街なかの道づくりを進めます
・交通渋滞の緩和に向けた道路整備を進めます
・過疎・中山間地域における生活交通を確保します
・地域振興のための道の駅整備を支援します

■主な指標
市街地内の都市計画道路(幹線道路)の整備延長
現況(R2) 334.8km⇒目標(R12) 344.6km
渋滞対策実施箇所率　現況(R2) 15%　⇒目標(R12)　30%
すれ違い困難箇所の解消率　現況(R2)　0%　⇒目標(R12) 100%
(日常的に通行に使用する21箇所)

車両のすれ違いが困難な箇所
(会津若松三島線　三島町)

（施策７）健康を支え、すべての人にやさしい道づくり

・すべての人が安全に通行できる歩行空間を整備します
・健康を支える自転車走行空間を整備します
・訪日外国人の移動を支援する国際化に対応した情報提供を進めます

■指標
ユニバーサルデザインに配慮した歩道の整備率
現況(R2) 67%⇒目標(R12) 69%
自転車道の整備率　現況(R2) 88%⇒目標(R12) 91%

歩行空間の確保が求められる歩道
(三株下市萱小川線　いわき市小川町)

（施策８）脱炭素や循環型社会を実現する道づくり

・道路照明等をLEDに交換し省エネルギー化を進めます
・施設の長寿命化を進めCO2排出量の削減に取り組みます

■主な指標
・再エネ・省エネ技術の導入によるトンネル及び道路照明の年間CO2排出削減量　現況(R2) 296t ⇒目標(R12) 1060t

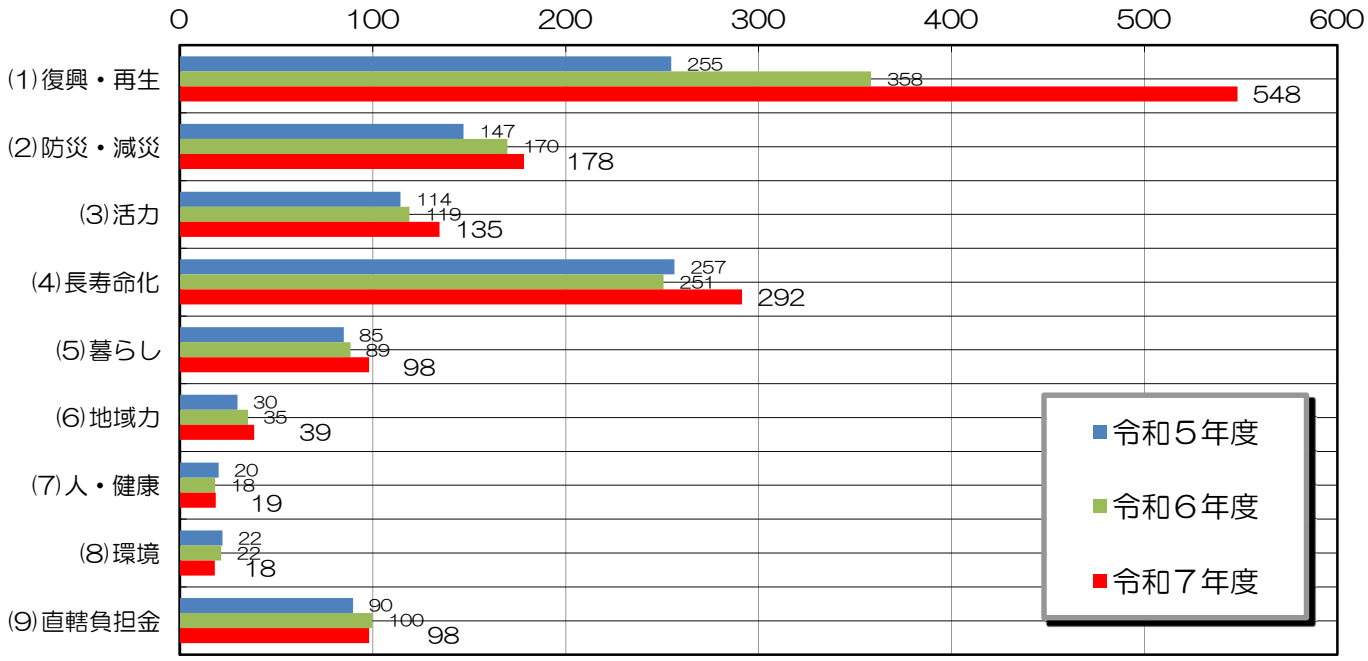
LED化したトンネル照明

令和７年度　道路の予算概要

～安全・安心な、活力ある未来へつなぐ道づくり～

◆「道づくり」の８つの施策別予算額と推移（Ｒ５～Ｒ７）

事業費＜億円＞



８つの施策別予算と復興事業の事業費一覧（R5-R7）

ふくしま道づくりプラン	主な実施箇所	令和５年度当初予算	令和６年度当初予算	令和７年度当初予算	伸び率 R6/R5	伸び率 R7/R6	R7合計を1.0とした場合の割合
復興・再生							
(1) ふくしまの更なる復興を支える道づくり	外	25,488	35,838	54,833	1.41	1.53	38.5%
防災・減災							
(2) 頻発する自然災害に備える道づくり	外	14,723	16,990	17,844	1.15	1.05	12.5%
活力							
(3) 広域的な連携・交流を支え県土の活力を高める道づくり	外	11,443	11,916	13,480	1.04	1.13	9.5%
長寿命化							
(4) 新技術等を活用した既存施設の長寿命化や効率的な維持管理による道づくり	外	25,654	25,092	29,157	0.98	1.16	20.5%
暮らし							
(5) 一年を通じて安全で円滑な交通を確保する道づくり	外	8,504	8,853	9,825	1.04	1.11	6.9%
地域力							
(6) まちづくりや地域振興を支える道づくり	外	3,003	3,545	3,873	1.18	1.09	2.7%
人・健康							
(7) 健康を支え、すべての人にやさしい道づくり	外	2,030	1,844	1,878	0.91	1.02	1.3%
環境							
(8) 脱炭素や循環型社会を実現する道づくり	外	2,225	2,153	1,826	0.97	0.85	1.3%
国施工							
(9) 国直轄負担金	外	8,993	9,993	9,822	1.11	0.98	6.9%
合　計		102,063	116,224	142,538	1.14	1.23	100%

※　２つ以上の方針･計画に基づく事業は、重複して計上している。
※　公共用地先行取得経費、管理運営費、道路公社運営費等を除く。

令和７年度　道路の予算概要

～安全・安心な、活力ある未来へつなぐ道づくり～

◆ふくしま道づくりプランで定める指標の伸展

ふくしま道づくりプランでは、期間毎の目標を定め、計画的に必要な事業を進めること、効果の見える化を図ることを目的に、指標（目標値）を設定しています。（指標は下表のとおり）

施策	指標	R2	R7	R7見込	R12
復興・再生	ふくしま復興再生道路（８路線29工区）の整備完了率	48%	100%	100%	100%
	被災12市町村の復興に係る道路(特定復興再生拠点、福島イノベーション・コースト構想の関連施設へのアクセス等)の整備完了率	0%	100%	100%	100%
防災・減災	災害発生時に緊急物資等を輸送する道路において、落石等の対策が必要な危険箇所の対策率	75%	100%	99%	100%
	市街地における無電柱化整備率	46%	51%	51%	57%
	災害発生時に緊急物資等を輸送する道路において、大規模地震後に速やかな機能回復ができる性能を確保した橋梁の整備率	43%	68%	56%	100%
	雪崩や地吹雪のおそれのある危険箇所の解消率	34%	36%	36%	37%
活力	30分以内にインターチェンジにアクセスできる市町村数	51	53	51	53
	七つの地域の主要都市間の平均所要時間	86分	84分	85分	82分
	広域道路において、国際海上コンテナ車（40ft背高）が許可無く通行できる延長の割合	70%	75%	72%	77%
長寿命化	早期に対策を講ずべき橋梁・トンネルの修繕措置率	17%	100%	96%	100%
	除雪作業におけるGPSシステムの導入事務所数	4	22	22	22
暮らし	通学路における安全対策の完了率	49%	62%	68%	75%
地域力	渋滞対策実施箇所率	15%	22%	27%	30%
	すれ違い困難箇所の解消率 （日常的に通行に使用する21箇所）	0%	67%	33%	100%
	観光地へのアクセス道路の整備率	15%	77%	77%	100%
人・健康	ユニバーサルデザインに配慮した歩道の整備率	67%	68%	68%	69%
	自転車道の整備率	88%	90%	91%	91%
	外国人旅行者にわかりやすい標識整備率	79%	100%	100%	100%
環境	再エネ・省エネ技術の導入によるトンネル及び道路照明の年間CO2排出削減量	296t	1,060t	1,060t	1,060t

令和７年度　道路の予算概要

～安全・安心な、活力ある未来へつなぐ道づくり～

施策１　ふくしまの更なる復興を支える道づくり

◎ふくしま復興再生道路や復興拠点へのアクセス道路の整備を推進

避難指示区域とその周辺地域については、復興と避難住民の帰還を加速させるため、「ふくしま復興再生道路」として８路線を位置づけ、国へ復興財源の確保や代行による一部路線の整備を求めるなど、本県の復興に向けて戦略的に道路整備を進めています。

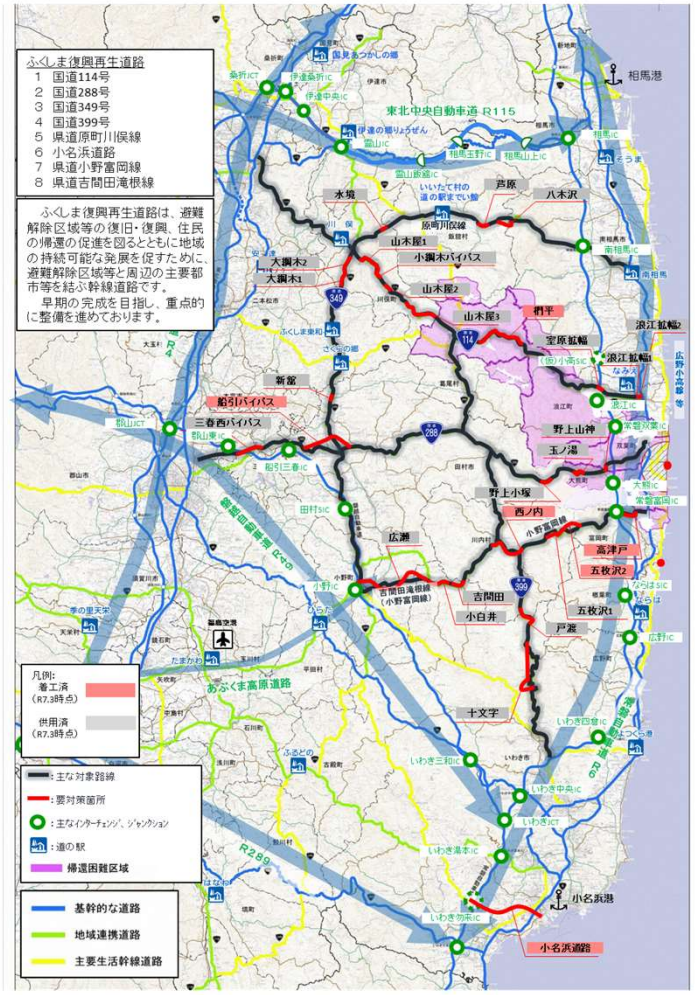
また、復興拠点へのアクセス道路の整備として、県道井手長塚線等の整備を戦略的に進めていきます。

＜令和７年度の事業箇所＞
県道浪江三春線　小出谷工区（葛尾村）
県道小野富岡線　五枚沢２工区（川内村）
県道原町川俣線　下高平工区（南相馬市）外

Ｒ7事業費 約５４８億円

ふくしま復興再生道路	
1	小名浜道路
2	国道１１４号
3	国道２８８号
4	国道３４９号
5	国道３９９号
6	県道　原町川俣線
7	県道　小野富岡線
8	県道　吉間田滝根線

「ふくしま復興再生道路」整備箇所（令和7年３月現在）



※避難指示区域はR5.11.30時点のもの

■ふくしま復興再生道路の整備進捗率（２９工区［８路線］）

工事中　６工区　２１％

完成　２３工区　７９％

◆県道吉間田滝根線（広瀬工区）＜完成後＞R6.4.13完成

◆県道いわき上三坂小野線（小名浜道路）＜整備中＞

令和７年度　道路の予算概要

～安全・安心な、活力ある未来へつなぐ道づくり～

施策２　頻発する自然災害に備える道づくり

◎落石等危険箇所への対策事業

・大規模地震や異常気象による大雨等で発生する自然災害に備え、落石等が発生した箇所やおそれのある箇所の対策を実施し、交通の安全・安心を確保します。

＜令和７年度の事業箇所＞
国道１１８号　湯本工区（須賀川市）　外

◆国道１１８号（羽鳥工区）＜完成後＞

◎災害時の安全な通行を支える無電柱化事業

・災害時に電柱倒壊による道路遮断の防止や、電力・通信の切断被害の軽減などを図るため、無電柱化を進め、都市防災機能を向上させます。

＜令和７年度の事業箇所＞
県道水原福島線　杉妻工区（福島市）　外

◆県道喜多方会津坂下線（三丁目工区）＜完成後＞

◎橋りょう耐震補強事業

・大規模な地震時における落橋や倒壊を防ぐため、桁及び下部工について、耐震補強等必要な対策を実施します。

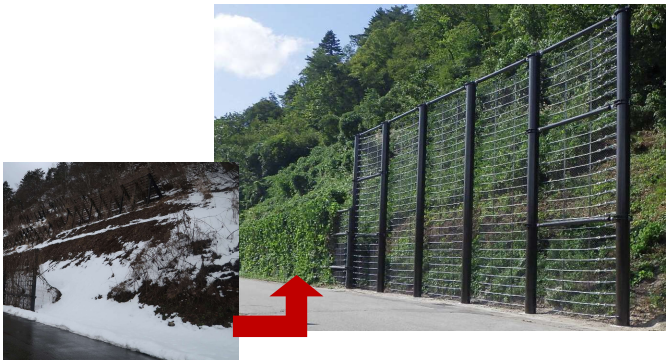
＜令和７年度の事業箇所＞
国道１１５号　岩崎橋工区（伊達市）　外

◆国道１１８号（大橋工区）＜完成後＞

◎冬期の地域活動を支える雪崩対策事業

・豪雪などにより、過去に雪崩等の雪害が発生した箇所について雪崩対策を実施し、地域の経済活動や利用者の安全など雪国の暮らしを守ります。

＜令和７年度の事業箇所＞
県道下郷会津本郷線　大内工区（下郷町）　外



◆県道小林舘の川線（小川工区）＜完成後＞

令和７年度　道路の予算概要

～安全・安心な、活力ある未来へつなぐ道づくり～

施策３　広域的な連携・交流を支え県土の活力を高める道づくり

◎県内外の連携や交流を支援する基幹的な道路の整備

・７つの地域や県外との連携・交流を強化し、安全で活力ある県土基盤を構築するため、基幹的な道路を整備します。

＜令和７年度の事業箇所＞

浜通り軸	国道６号	勿来バイパス【国整備】　外
南部軸	国道２８９号	八十里越（只見町）【国・県整備】
会津軸	会津縦貫北道路	若松北バイパス【県整備】
	会津縦貫南道路	湯野上バイパス【国整備】
		下郷田島バイパス【県整備】

◎地域間の連携や交流を促す地域連携道路の整備

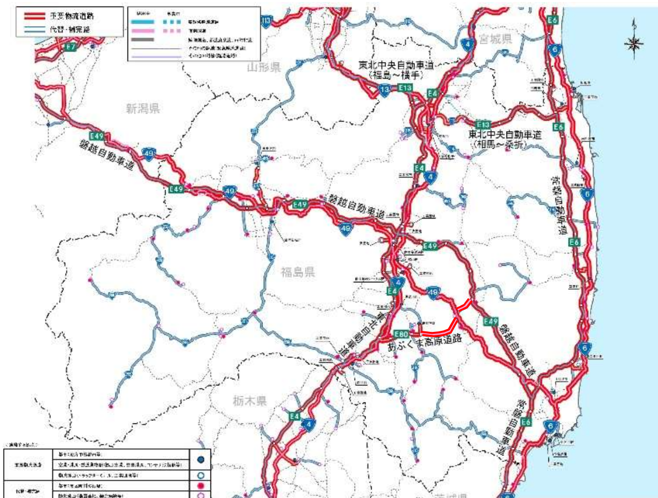
・地域間の交流や連携を強化するため、基幹的な道路を補完する地域連携道路の着実な整備を推進します。

＜令和７年度の事業箇所＞
県道いわき石川線　石川ＢＰ１工区（石川町）　外

◎安定的な輸送を確保する重要物流道路等の整備

・平常時・災害時を問わない安定的な輸送を確保するため、国が指定する「重要物流道路」及び代替・補完路等の重点的な整備と機能強化に取り組みます。

＜令和７年度の事業箇所＞
国道３４９号　五十沢工区（伊達市）　外



◆重要物流道路と代替・補完路（R6.4.1時点）

◆国道１２１号（下郷田島バイパス）＜整備中＞

◆国道２８９号（八十里越）＜整備中＞

◆県道いわき石川線（石川ＢＰ１工区）＜整備中＞

◆国道３４９号（五十沢工区）＜整備中＞

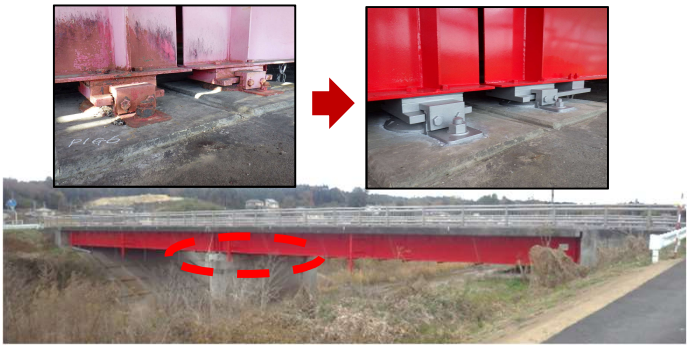
令和７年度　道路の予算概要

～安全・安心な、活力ある未来へつなぐ道づくり～

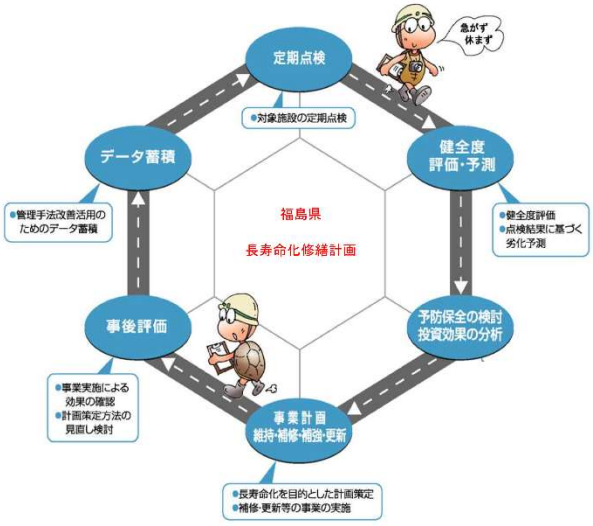
施策４　新技術等を活用した既存施設の長寿命化や効率的な維持管理による道づくり

◎橋りょう等の長寿命化対策

・各施設の長寿命化計画に基づき、計画的な点検・診断・措置・記録のメンテナンスサイクルにより、施設の機能を確保します。また、ライフサイクルコスト縮減を図るため、点検・設計・修繕等に積極的に新技術を導入し、業務の高度化、効率化に取り組みます。



◆県道浪江鹿島線（北台木橋工区）＜完成後＞



長寿命化修繕計画の流れ

◆国道２５２号（高清水第２スノーシェッド工区）＜完成後＞

＜令和７年度の事業箇所＞
国道３９９号　平大橋工区（いわき市）
県道会津若松裏磐梯線　一箕横断歩道橋（会津若松市）　外

◎舗装の長寿命化対策

・毎年路面性状調査を実施し、路面の劣化状況を適切に把握しながら、路盤改良など道路機能の強化により舗装の長寿命化を図り、安心安全な通行の確保に取り組みます。

＜令和７年度の事業箇所＞
国道１１５号　若宮工区（猪苗代町）
県道矢吹小野線　下蓬田工区（平田村）　外

◆県道小野四倉線（山田小湊工区）＜完成後＞

令和７年度　道路の予算概要

～安全・安心な、活力ある未来へつなぐ道づくり～

施策５　一年を通じて安全で円滑な交通を確保する道づくり

◎雪国の暮らしを守る防雪対策事業

・家屋が連続する地区での路面凍結によるスリップ事故や落雪による事故等を防止するための消融雪施設の整備を実施し、冬期交通における安全性の向上を図ります。

＜令和７年度の事業箇所＞
国道２５２号　七日町工区（会津若松市）　外

◆国道２５２号（七日町工区）＜消雪・整備中＞

◎冬期間の道路交通の安全・安心を確保

・除雪体制を確保し、道路除雪や凍結抑制剤の散布などを行うことにより、円滑な道路交通を確保します。

＜令和７年度の事業箇所＞
県管理道路　３８６路線　約５，４７７ｋｍ

◆県道会津若松裏磐梯線（北塩原村）＜除雪状況＞

施策６　まちづくりや地域振興を支える道づくり

◎地域間の交流促進や観光の活性化を支援する道路の整備

・地域間の交流促進や観光の活性化を支援するため、地域特性や交通特性を踏まえ、観光拠点等へのアクセス道路の整備を推進します。

＜令和７年度の事業箇所＞
県道上名倉飯坂伊達線　天戸橋工区（福島市）　外

◆県道上名倉飯坂伊達線（天戸橋工区）＜整備中＞

◎中山間地域の振興を支援する市町村道の整備

・中山間地域の道路ネットワークの効果的な整備を図り、地域振興を支援するため、各市町村の財政、技術者等の状況を考慮し、市町村に代わって県が市町村道の新設及び改築を代行事業として整備します。

＜令和７年度の事業箇所＞
町道宇内沼越線　丈助橋工区（会津坂下町）　外

◆町道宇内沼越線（丈助橋工区）＜整備中＞

令和７年度　道路の予算概要

～安全・安心な、活力ある未来へつなぐ道づくり～

施策７　健康を支え、すべての人にやさしい道づくり

◎通学路等の安全な歩行空間整備事業

・安心して通行できる歩行空間の確保に向け、通学路等における歩行者空間の確保（歩道整備やラバーポールによる歩車分離等）を進めます。

＜令和７年度の事業箇所＞
県道矢祭山八槻線　赤沢橋工区（塙町）　外

◆県道北山会津若松線（広田工区）＜完成後＞

◎やさしい道づくり推進事業

・ユニバーサルデザインに配慮し、すべての人が安全に通行できる歩行空間を整備します。

＜令和７年度の事業箇所＞
県道郡山小野線　品ノ木工区（小野町）　外

◆国道399号（田町工区）＜完成後＞

◎健康を支える自転車走行空間整備事業

・県民の健康増進を図るため、快適な自転車走行空間を整備します。

＜令和７年度の事業箇所＞
県道広野小高線　ふくしま浜通りサイクルルート　外

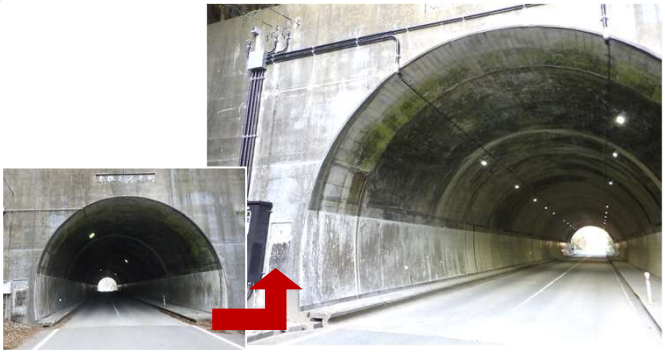
◆県道甲塚古墳線（いわき七浜海道）＜一部完成後＞

施策８　脱炭素や循環型社会を実現する道づくり

◎道路トンネル照明等のＬＥＤ化事業

・道路トンネル照明等をＬＥＤに交換することで、省エネルギー化を進めます。

＜令和７年度の事業箇所＞
県道いわき石川線　皿貝トンネル（いわき市）　外



◆県道原町浪江線（赤根トンネル）＜完成後＞

令和７年度　道路の予算概要

～安全・安心な、活力ある未来へつなぐ道づくり～

5　令和７年度の主なトピックスについて

Topic1 第２期復興・創生期間の復興事業の推進

ふくしまの更なる復興の支援と地域の活力を向上させるため、道路ネットワークの構築に取り組み、早期供用を目指します。

1　ふくしま復興再生道路の整備
→ 復旧・復興、住民帰還の促進や産業再生を支援する道路の整備を推進します。

2　避難地域の復興・再生を支援する道路整備
特定復興再生拠点関連の道路整備
→ 原子力災害被災地域の復興・再生を支援する道路の整備を推進します。

◆小名浜道路の整備状況

Topic2 防災・減災、国土強靱化の推進

大規模地震や激甚化・頻発化する気象災害に対応するため、事前の備えとなる総合的な防災・減災対策に引き続き取り組みます。

1　シームレスネットワークの構築
→ 会津縦貫道の整備を推進し、県土の骨格を担う基幹的な道路の安全で信頼性の高い道路ネットワークを構築します。

2　道路法面の土砂災害防止対策
→ 落石等危険箇所の対策を実施し、緊急輸送道路の安全性を高めます。

3　橋梁の耐震補強
→ 大規模地震後に橋梁の速やかな機能回復ができるよう対策を進めます。

◆会津縦貫道の整備状況

◆落石対策整備状況

Topic3 広域サイクリングルートにおける自転車利用環境の向上

令和５年１月に設定された県内７地域の「福島県広域サイクリングルート」について、走行環境の整備や利活用促進に向けた取組を行います。

1　走行環境の整備
→ 福島県自転車活用推進計画に位置付けられた、自転車ネットワーク路線やサイクリングルートの走行環境整備を推進します。

2　ルートの利活用に向けた取組
→ 広域サイクリングルートの利活用や情報発信に向けた取組を実施し、地域の機運醸成を図ります。

◆広域サイクリングルート（県北地域）

Topic4 ＤＸの推進による道路管理の深化

道路の維持管理を効率的に行うために、ＡＩやＩＣＴを活用したＤＸの取組を推進します。

1　舗装補修でのＡＩ活用
→ＡＩ技術を活用し、路面の状態をリアルタイムで把握することで、実態に即した舗装補修計画の構築を図ります。

2　集中監視体制の導入
→長大トンネルなどにおいて、管理体制の効率化を図るため、集中監視体制の導入に向けた取組を進めます。

◆集中監視のイメージ

令和７年度　道路の予算概要

～安全・安心な、活力ある未来へつなぐ道づくり～

福島県自転車活用推進計画に基づく取組の実施

●令和７年度の自転車関連事業（重点事業）について

福島県自転車活用推進計画（令和２年３月策定）

計画の目標と実施すべき施策

・誰もが快適に自転車利用できる良好な自転車走行環境づくり
・サイクルスポーツの振興や自転車の日常利用による県民の健康増進
・サイクルツーリズム（自転車観光）推進によるにぎわいのある観光地域づくり
・自転車利用に関する安全意識の向上による交通安全・安心の確保

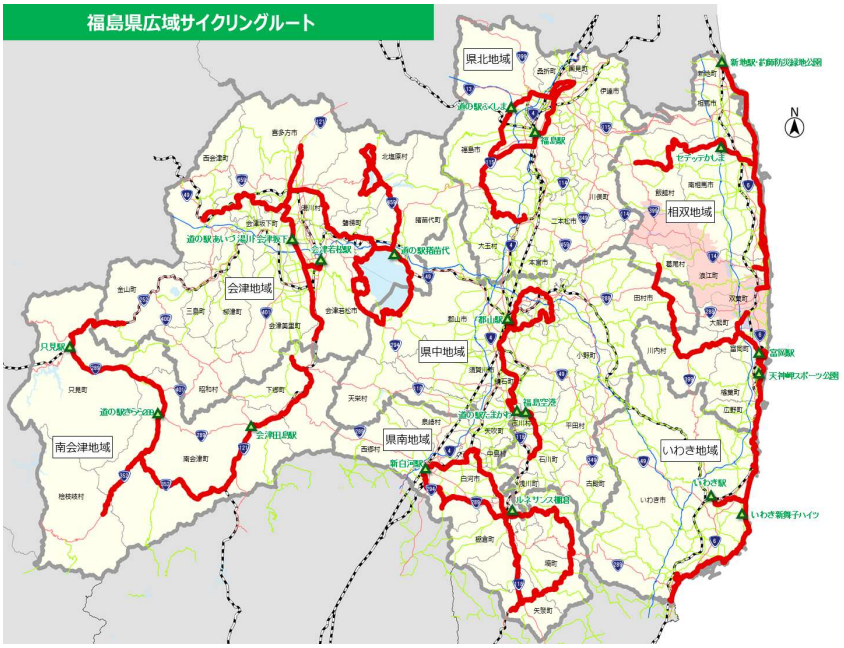
県民の健康づくりと地域の観光振興を図るため、ソフト・ハードの両面から自転車の活用推進を図ります。

主な取組内容

【走行環境の整備】

福島県自転車活用推進計画に位置付けられた、自転車ネットワーク路線やサイクリングルートの走行環境整備を推進します。

- 福島飯坂線外（県北地域）
- 青松浜線外（県中地域）
- 棚倉鮫川線外（県南地域）
- 会津若松熱塩温泉自転車道線外（会津地域）
- 高陽田島線外（南会津地域）
- 広野小高線外（相双地域）
- 豊間四倉線外（いわき地域）



【ルートの利活用に向けた取り組み】

ナショナルサイクルルートの指定を目指すふくしま浜通りサイクルルート沿線にフォトスポット等を整備し、ルートの魅力向上を図ります。

令和７年度　道路の予算概要

～安全・安心な、活力ある未来へつなぐ道づくり～

道路管理におけるＤＸの推進

各施設の維持管理で、長寿命化修繕計画に基づく適切な点検や措置を実施することが必要であり、**新技術の活用による業務の高度化や効率化**を図ることが必要です。
さらに、**将来のインフラ管理を担う人材の育成**にも取り組む必要があります。

＜ＡＩ技術を活用した路面性状調査＞

道路パトロール車に搭載したドラレコや携帯電話で路面を撮影

ＡＩ技術により路面の状態を判定

実態に即した舗装補修計画を構築し、**計画的な修繕**により、**道路利用者の安全**に繋げます

＜集中監視＞

長大トンネル及び自動車専用道路の各専用管理所で監視しているカメラ映像などを集中監視室で**一元的に監視**し、**効率的な管理体制を構築**します

＜ＧＰＳトラッカーを用いた除雪＞

除雪車にＧＰＳトラッカーを導入し、除雪車の位置情報を把握

今後は　さらなる県民サービスを向上

＜除雪オペレーターの支援＞
　マンホールやガードレールの**位置情報を確認できるシステムを導入**します

＜連携の強化＞
　国や市町村などと**除雪車の位置情報を共有し役割分担を柔軟に調整**します

＜ＩＣＴを活用した道路パトロール＞

1　道路パトロールの結果をデータベースに蓄積
→ **データ**を基に、**計画的な施設の維持管理**を行い、**道路利用者の安全を確保**します

2　災害発生時の情報提供を迅速化
→ タブレットから得た**災害発生状況**や**迂回路情報**を、**速やかに道路利用者へ提供**します

タブレットに道路の異常などを登録

情報伝達を迅速化

令和７年度　道路の予算概要

～安全・安心な、活力ある未来へつなぐ道づくり～

６　主な完成予定箇所

（１）主な完成予定箇所

①国道２８８号（船引ＢＰ）＜整備中＞

④国道２８９号（山口スノーシェッド）＜整備中＞

※図上に下表の番号の事業を示す。

番号	路線名	所在地（工区名）	主な工種	事業の効果
①	国道２８８号	船引町 （船引ＢＰ）	道路改築	線形不良、幅員狭小が解消され、安全・安心に通行できるようになります。
②	県道小野富岡線	川内村 （西ノ内）	道路改築	線形不良、幅員狭小が解消され、安全・安心に通行できるようになります。
③	県道水原福島線	福島市 （杉妻）	電線共同溝	電線の地中化により、災害に強い道路となります。
④	国道２８９号	南会津町 （山口スノーシェッド）	構造物修繕	スノーシェッドの損傷部が修繕され、安全・安心に通行できるようになります。
⑤	国道４５９号	北塩原村 （湯平山）	法面対策	落石の危険箇所が解消され、災害に強い道路となります。

表　令和７年度の主な完成予定箇所一覧

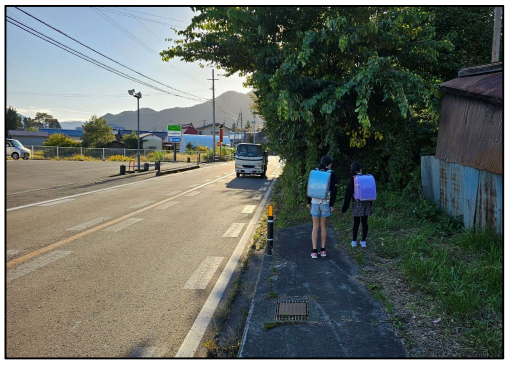
令和７年度　道路の予算概要

～安全・安心な、活力ある未来へつなぐ道づくり～

（２）主な新規箇所

※図上に下表の番号の事業を示す。

①県道旅人勿来線（宝坂２）＜整備前＞



②国道１２１号（豊成工区）＜整備前＞

番号	路線名	所在地（工区名）	主な工種	事業の効果
①	県道旅人勿来線	いわき市 （宝坂２）	道路改築	線形不良、幅員狭小が解消され、安全・安心に通行できるようになります。
②	国道１２１号	下郷町 （豊成）	歩道整備	通学路の歩道が整備され、通学児童が安心して通行できるようになります。
③	国道１１５号	猪苗代町 （横向）	路上再生路盤	舗装の損傷部が修繕され、安全・安心に通行できるようになります。
④	県道福島吾妻裏磐梯線	福島市 （硫黄平橋）	橋梁修繕	橋梁の損傷部が修繕され、安全・安心に通行できるようになります。
⑤	国道２９４号	須賀川市 （勢至堂）	法面対策	落石の危険箇所が解消され、災害に強い道路となります。

表　令和７年度の主な新規箇所一覧